



令和5年度 京都大阪森林管理事務所 重点取組事項



令和5年度 京都大阪森林管理事務所重点取組事項について

目次

- 1 公益重視の管理経営の推進等
- 2 「新しい林業」の確立に向けた取組の展開
- 3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

1 公益重視の管理経営の推進等

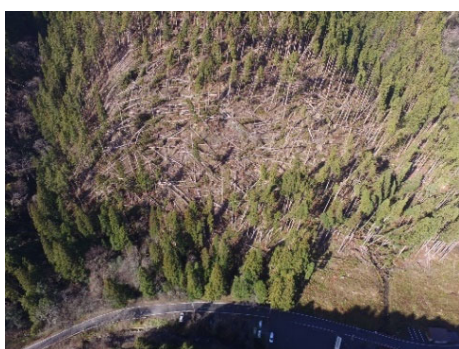
平成30年に発生した台風21号により、京都市の貴船山（きぶねやま）及び鞍馬山（くらまやま）国有林で発生した風倒木被害について、「森林再生全体計画（貴船・鞍馬）」に基づき、地域の安全・安心を確保しつつ、観光産業を軸とした地域振興に配慮した森林再生に取り組んでいます。

治山事業による国土強靱化と森林整備事業

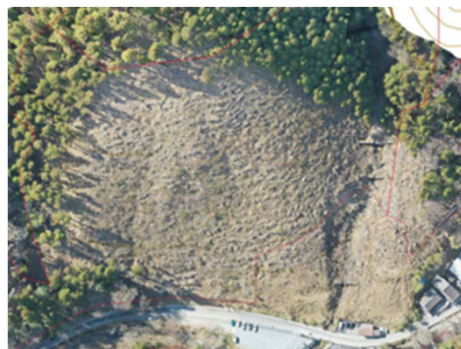
大規模台風被害地（貴船・鞍馬）の森林再生

森林整備事業（被害木整理・植栽）

優先度の高い地域から被害木の伐採整理を行い、その跡地には、林地保全と森林景観に配慮した広葉樹による森林再生に取り組んでいます。令和5年度も被害木整理、植栽を予定しています。



風倒木被害の状況（H30.12月）



被害木整理後の状況（R4.3月）



森林再生に向けた広葉樹の植付（R3年度事業実行地）
（写真左：植付作業、中：イロハモミジ、右：ウツギ）

（京都市 貴船山国有林）

治山事業（山腹工）

優先度の高い地域から山腹工による斜面安定対策を進め、森林再生に取り組んでいます。令和5年度は、叡山電鉄の上部斜面で山腹工を計画しています。

令和4年度実施箇所



令和5年度予定箇所



貴船山国有林（叡山電鉄上部斜面）

森林土木工事におけるICT化の推進

工事現場において、監督職員と受注者がウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して段階確認、材料検査、立会等を行うなど森林土木工事におけるICT化を推進しています。



現場

遠隔臨場での型枠検査実施状況

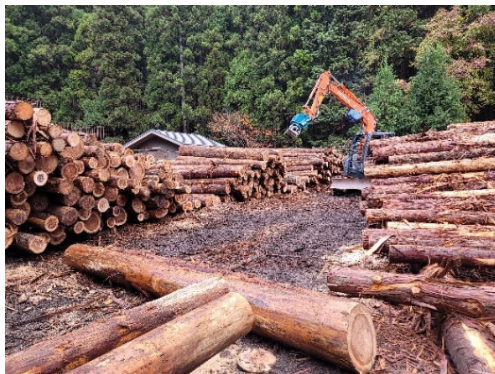


事務室

木材の安定供給の推進

公益重視の管理経営を推進しつつ、地域における木材安定供給体制の構築等を図るため、木材の持続的かつ計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献できるよう取り組みます。

また、国有林材等の安定供給システムによる販売（システム販売）を展開し、間伐材等国有林材のさらなる安定供給に取り組みます。



R4事業（間伐）の中間土場
（京都市 大悲山国有林）

事業での木材利用

治山及び林道事業において、木材利用工種を優先的に適用することとし、合法性木材の利用促進を図ります。



木製柁筋工の設置(遠景)



木製柁筋工の設置(近景)

高齢級人工林等の価値向上に向けた取組

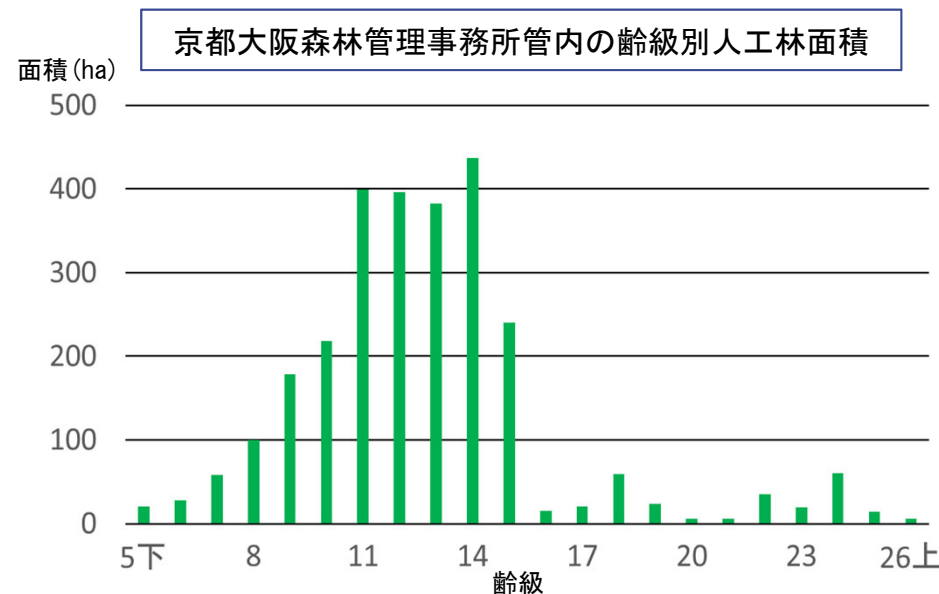
木材需要者のニーズを踏まえた採材の工夫により、原木の価値の向上に取り組めます。また、植えてから90年程度の高齢級人工林について、特に太さや品質を活かし需要者から高い評価が得られるよう取り組みます。



国有林から出材された
高齢級丸太



醍醐山国有林（京都市）



※齢級：林齢を5年単位で区分したもの。林齢1～5年生は1齢級、6～10年生は2齢級、65～70年生は14齢級に該当する。

2 「新しい林業」の確立に向けた取組の展開

森林・林業基本計画（R3.6.15閣議決定）で位置づけた、イノベーションで伐採から再造林、保育の収支をプラスへ転換させる「新しい林業」の実現に向け、生産性向上や低コスト再造林、効率的な鳥獣被害対策等に取り組むこととしています。また、その成果は民有林へも普及を図ります。

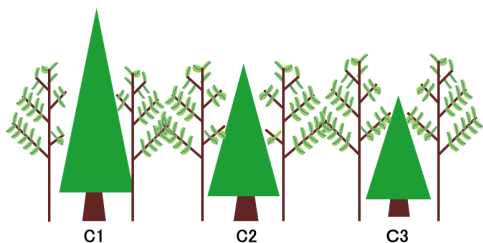
造林の低コスト化・省力化に向けた取組

下刈りの省力・削減の取組

再造林（植付）後は、低コスト化、省力化の観点から、下刈り回数の削減（下刈り省略）等に取り組めます。

具体的には、植栽後約5年間という画一的な実施ではなく、植栽木と雑草木の競合状態を見極めながら、下刈り回数の削減に取り組めます。

また、現地の状況に応じて、刈払い方法を全刈りから筋刈りを変更するなど、省力かつ効果的な実施に取り組めます。



C1: 植栽木が雑草木を上回る

下刈り省略

C2: 植栽木と雑草木が同じ

下刈り検討

C3: 雑草木が植栽木を上回る

下刈り実施

下刈り省略の目安（判定）



植付後3年経過した造林地（スギ）

【C1判定：下刈り省略】

（京都市 安祥寺山国有林）

シカ防護対策

造林木へのシカによる被害（食害）が想定される箇所には、防護柵等による被害対策に取り組めます。

とくに、防護柵の設置にあたっては、支柱に現地立木を活用することで資材コストの低減に取り組めます。

また、現地の状況に応じて単木防護を行うなど、効果的なシカ防護対策に取り組めます。



防護柵支柱に現地立木を活用

（京都府綾部市 古屋国有林）



単木防護

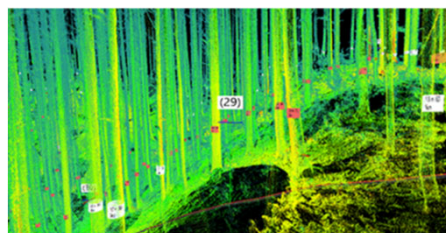
（京都府舞鶴市 大谷国有林）

収穫調査の効率化・省力化

製品生産事業等における収穫調査の効率化のため、職員の3次元地上レーザスキャナ（OWL）の操作技術の習熟を図り、収穫調査への積極的な導入・活用に取り組みます。



職員のOWL操作習熟に向けた現地実習
(大阪府箕面市 箕面国有林)



【3次元解析画像】

生産性向上の取組

請負事業体の木材（丸太）の生産作業システムを最適化し、生産性の向上とコスト縮減を支援するため、作業日報による工程管理を実施し、ボトルネックとなる工程を明らかにして、より良い作業システムとなるよう請負事業体と連携した取組を展開します。



林業機械（プロセッサ）による造材



生産性向上に向けた支援

(京都市 大悲山国有林※R4事業地)

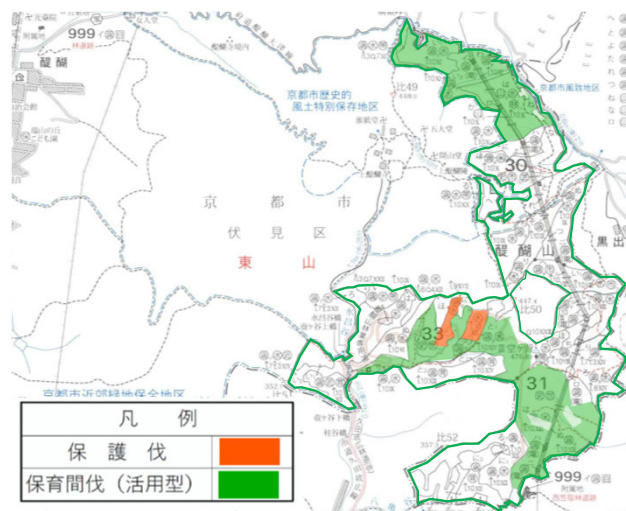
伐採と造林の一貫作業システムの推進

林業の低コスト化を推進するため、令和5年度に素材生産（伐採）と造林（植付）の一貫作業に取り組みます。

具体的には、

- ①素材生産として実施する伐採（保護伐）地において、全木木寄せ集材による地拵の省略
- ②伐採直後に行う植栽地において、木材搬出機械（フォワーダ）の活用による苗木等資材運搬作業の省力化
- ③コンテナ苗と専用植栽器による植付作業の効率化等に取り組みます。

また、これらの成果については、民有林への普及に努めます。



一貫作業システム計画位置図
(京都市 醍醐山国有林)



コンテナ苗と専用植栽器による植付

効率的なシカ捕獲の取組

シカ捕獲委託事業において、くくり罠（10個）に通報装置「ほかパト」（10子機）を設置し、シカ等が捕獲された際、委託事業者（地元猟友会）に連絡が入ることで、常時、見回りの必要がない効率的な捕獲を推進しています。

実施場所：本山寺山国有林及び楊梅山国有林全域（大阪府高槻市）



設置した「ほかパト」子機



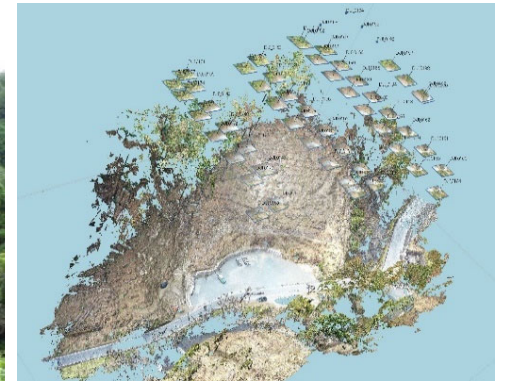
捕獲したシカ

ドローン活用の取組

山腹崩壊地や風倒被害地等の調査にドローンを活用しています。また、ドローンで撮影した情報をオルソ化処理により、森林・地形情報の把握に活用しています。



ドローンによる被害地撮影

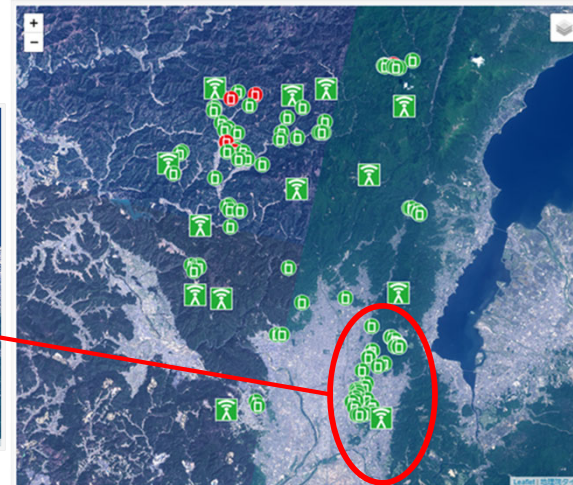
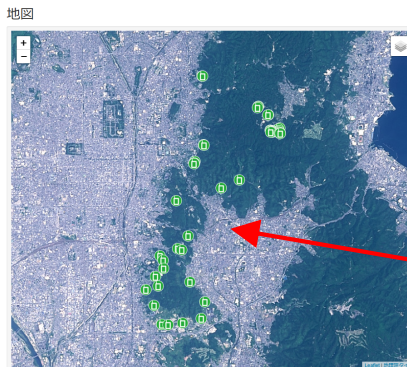


オルソ化画像

地域との連携による捕獲の取組

京都市では有害鳥獣捕獲の効率化を図るため、LPWA（低消費電力の長距離無線）を活用し、市内全域をほぼカバーする通信網を整備しています。しかし、捕獲現場では通報装置の子機が不足していることから、京都大阪森林管理事務所では、京都市との協定に基づき令和4年度に通報装置の子機を貸し出したほか、親機の追加設置により電波状況を改善するなど、各支部猟友会の捕獲活動の効率化を支援しています。

世界的な観光都市である京都の安全・安心の確保にもつながるよう、引き続き、京都市と連携して取り組みます。



子機の配置状況(市内全域)



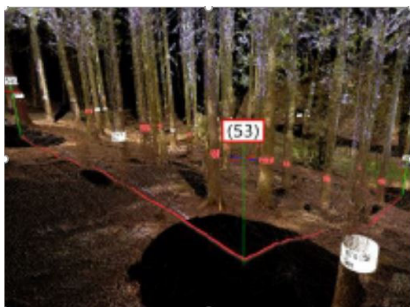
親機の設置状況

3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

豊富な森林資源の持続的な循環利用と適切な管理を両立させることが我が国の森林・林業にとって重要な課題となっています。こうした状況をふまえて、国有林のフィールドや技術を活用して民有林の支援に取り組みます。

現地検討会（ICTを活用した森林資源調査）

市町村が抱える地域課題やニーズを踏まえ、市町村林務担当職員、森林組合、林業事業者等を対象に様々なテーマを設定し、現地検討会等を開催します。令和5年度は、ドローンによる連続写真等を活用した、画像解析、オルソ画像の作成などを予定しています。



点群データによる解析



画像による説明の様子（イメージ）

林業大学等への支援

京都府立大学、京都大学及び近畿大学それぞれと締結した「連携と協力に関する協定」に基づき、実習フィールドとして国有林を提供するほか、実習講師として職員を派遣するなど人材育成を支援します。



京都府立林業大学の現地実習
R4. 6. 1（嵐山国有林）



近畿大学3回生の現地実習
R4. 5. 26（高台寺山国有林）

市町村支援に関する情報発信

市町村行政への支援について、市町村が抱える地域課題や国有林への要望に合わせて、効果的な支援の推進に取り組みます。

市町村支援メニューの例

- ドローンによる写真測量実技支援
- 3次元地上レーザースキャナの利用による森林調査支援
- 林務担当職員の技術習得支援
- シカ等の鳥獣害対策支援
- 森林整備事業地等の見学

【問い合わせ先】

京都大阪森林管理事務所 075-414-9822

国有林における市町村支援メニュー



災害発生時の初動対応・民有林支援

山地災害発生時には、森林管理局・署の職員がヘリコプターやドローンによる被災状況調査をはじめ、地元自治体の要請に応じて山地災害対策チームの派遣等、民有林の被災状況の確認や復旧に向けた技術的支援を行います。また、平時から治山技術向上を図るための現地検討会の開催等に積極的に取り組みます。



調査飛行ルート等打合せ → 被災状況確認（ヘリ調査）→ リアルタイムで情報共有

【大雨による被災状況確認】

レクリエーションの森における取り組み

東山風景林（日本美しい森 お薦め国有林）

高台寺山国有林では、京都伝統文化の森推進協議会とレクリエーションの森協定に基づくサポーター制度を活用し、古都京都にふさわしい森づくりを目指し、同協議会による林相改善事業に取り組んでいます。また、協議会では希少植物であるキクタニギクを復活させる活動も行っています。



専門委員による林相改善事業予定地の視察



ボランティアによる清掃活動（山頂展望台）



かつて自生していた菊谷ギクの植栽

明治の森箕面自然休養林（日本美しい森 お薦め国有林）

箕面国有林は、国立公園にも指定されており、箕面市や大阪府の行政機関や、NPO法人など多くの民間団体からなる明治の森箕面自然休養林管理運営協議会とレクリエーションの森協定を締結し、会員による森林整備など様々な活動に取り組んでいます。



間伐材を活用したベンチ



学生現地実習



シカ防護柵の補修

国民参加の森づくり

民間団体等と協定を締結し、国民参加による森づくりに取り組んでいます。

京都モデルフィレスト協会との**社会貢献の森（トラックの森）協定**により、除伐、防鹿柵補修を実施しました。

嵐山国有林では、地域関係者等と連携した森林整備に取り組んでいます。

令和4年度は、**嵐山保勝会並びに（公社）全国社寺等屋根工事技術保存会と連携**し、除伐、防鹿柵補修を実施しました。



除伐作業
銀閣寺山国有林（京都市）



防鹿柵修繕
嵐山国有林（京都市）

森林環境教育の推進

衣笠山国有林では、**京都市立金閣小学校と遊々の森（きぬかけの森）協定**を締結しています。

京都森林インストラクター会の協力を得ながら、森林教室を開催しています。



森林インストラクターによる森林教室



職員による国有林の説明

主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和5年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	5.3
	間伐	千m ³	7.6
販売	立木販売	千m ³	4.5
	製品販売	千m ³	2.2
造林	地拵え	ha	—
	植付	ha	3.7
	下刈り	ha	0.4
	つる切・除伐	ha	—
	保育間伐 (活用型・存置型)	ha	32.6
	保育間伐 (本数調整伐)	ha	2.0
林道	林道新設	m	3 8 0
	改良	m	5 8
治山事業	国有林直轄治山	百万円	4 9 0
	民有林直轄治山	百万円	—

①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量（分収育林分〇千m³）を含みます。

③林道には、林業専用道を含みます。

④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

⑤単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。

【問い合わせ先】

京都大阪森林管理事務所

京都府京都市上京区西洞院通り下長者
下ル丁子風呂町102

075-414-9822